



令和七年 はたちの集い



当日の様子は
YouTubeで公開中

市在住・出身者の20歳を迎えた皆さんを対象に開催された「はたちの集い」。
一生に一度の華やかな門出、旧友との再会、20年分のありがとう。



令和7年牧之原市「はたちの集い」が1月12日、相良総合センター「いづら」で開催され、市内在住・出身者320人が出席しました。

第一部の式典では、大石副市長による式辞後、「はたちの集い」実行委員の関大和さんと須藤大貴さんが20歳を代表して、周囲への感謝の気持ちや今後の決意などを述べました。その後、参加者には市から、静岡牧之原茶のティーバッグ、オリジナルデザインのタンブラーとトートバッグの記念品が贈られました。

第二部では、実行委員会による記念イベントが行われ、中学生時代のエピソードトークや「二十歳になった今伝えたい」メッセージをラジオ形式で紹介し、会場を大いに盛り上げました。

また、サプライズメッセージとして、「2023 ミス・ユニバース 日本代表」で「静岡まきのほら大使」である宮崎莉緒さんから動画のお祝いメッセージをいただきました。他にも、中学時代の恩師やボランティアとして参加した市内中学生、はいばら太鼓による演奏など多くの人が二十歳を迎える皆さんを祝いました。

代表のこたば(抜粋)



関大和さん

二十歳という人生の節目を迎え、行動に責任が伴う重みを実感するようになりました。人生を振り返ってみると、非常に多くの人に支えられてきたように感じます。二十歳を迎えても私たちはまだまだ未熟で、今後の人生、多くの人に助けってもらうことになると思います。しかし、その度に恩返しし、次の世代に受け継いで行くことのできる立派な大人になりたいと思います。



須藤大貴さん

今日を迎えるにあたり、伝えたいことは、出会いや友人を大切にしたいという思いです。これからも新しい出会いが数多く訪れると思います。その一つひとつを丁寧に受け止め、感謝の気持ちを持って関係を築いていきたいです。成人としての新しい一歩を踏み出し、多くのことを吸収し、たくさんの人と関わりを持ちながら、感謝の気持ちを忘れずに生きていきたいと思えます。

